



全国がん登録届出対象、記入方法等 -医療機関からよくある質問とその回答-

弘前大学医学部附属病院 医療情報部
(全国がん登録事業委託先)

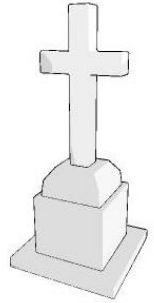
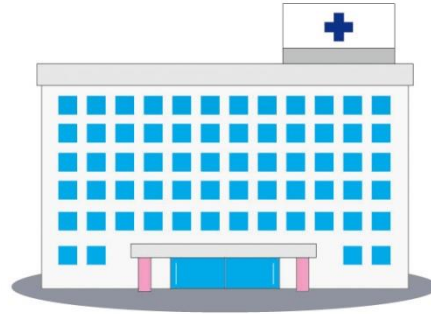
松坂方士



弘前^{大学医学部}
附属病院
医療情報部

がん登録について

がん登録の概要



氏名
性別
生年月日
住所

発見経緯

原発部位
組織診断名
病期
診断の根拠
実施した治療

死亡年月日
死因

登録

大学医学部
附属病院
医療情報部



全国がん登録の仕組み



診断・治療



A病院



届出票

全国がん登録
(青森県)

データ解析
報告書の作成



Bクリニック



届出票



個人同定
多重がん判定

継続治療



死亡診断書

遡り調査
(死亡した医療機関に
情報の追加を依頼する)



市町村役場

全国がん登録 届出項目

届出対象 = “がん” の診断



- がん登録に“確定診断”の考え方はありません。
(細胞診、組織診がなくても、“がん”です。)
- 医師が“がん”だと思った時点で診断です。
→ がん登録の届出対象の症例になります。
- 検査無しでも、“がん”だと思えば届出対象です。
- 医師が“がん”だと思った理由が、届出項目の「診断根拠」です。

届出対象になる“がん”

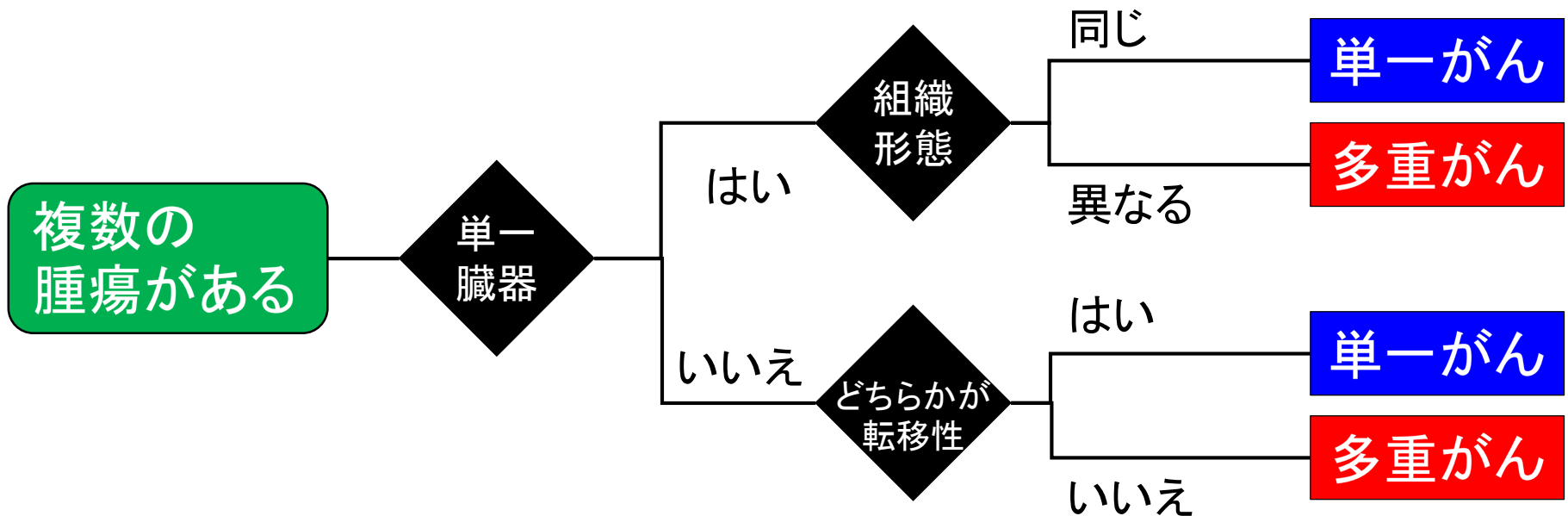


- すべての **悪性腫瘍**
- すべての **脳腫瘍（良悪性を問わず）**
- 脳腫瘍以外の **中枢神経腫瘍（良悪性を問わず）**
脊髄腫瘍、脊髄膜腫瘍、脳神経腫瘍など
- **境界悪性の卵巣腫瘍**
のう胞腺腫、のう胞腫瘍
漿液性表在性乳頭腫瘍
- **消化管間質腫瘍（GIST）**

多重がん



- がん登録の単位は“1腫瘍=1登録”です。
(1人=1登録ではありません。)
- 多重がんの場合、腫瘍の数に応じた届出が必要になります。



“初回治療”の定義

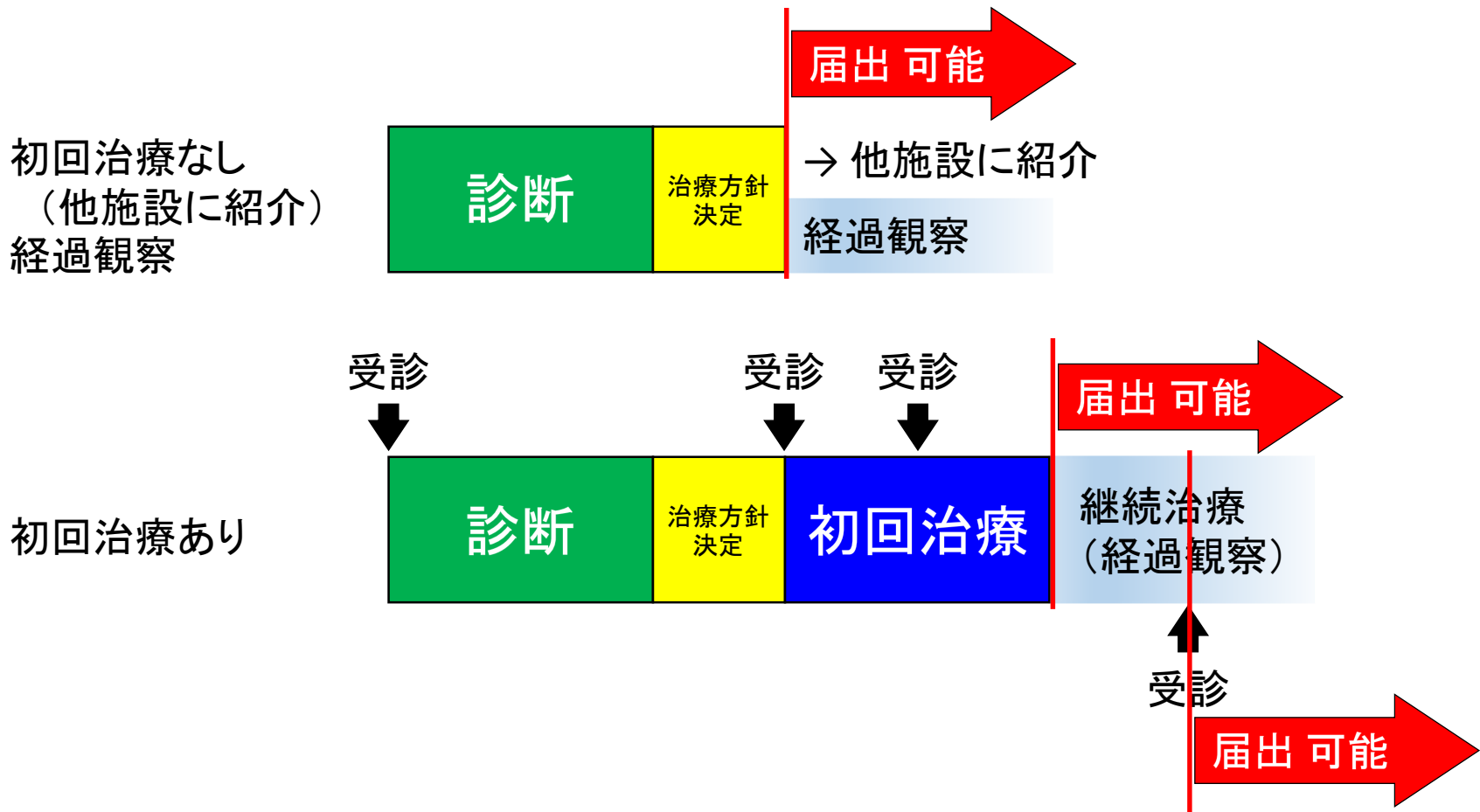


- 診断が終了した後で、がんの縮小・切除を目的に当初に計画された範囲の治療です。
- 治療効果が思わしくないために追加した治療や、再発後に実施された治療は含みません。
- 「経過観察(BSC)」も初回治療に含みます。
- はっきりしない場合には、診断からおおよそ4ヶ月間の治療を“初回治療”と考えて下さい。
- 血液腫瘍の場合、初回寛解導入～維持療法までが初回治療です。

届出のタイミング



- 患者ごとの届出ではなく、まとめた届出で十分です。(6カ月ごとに届出する施設が多いです。)



患者基本情報(施設情報)



病院等の名称

法人名を含めて正式名称です。

電子届出の場合、届出申出書から転載されます。

診療録番号

いわゆるカルテ番号(ID番号)です。

患者情報の問い合わせの際に必要です。

患者基本情報(個人識別情報)



氏名(カナ氏名)

住民票、戸籍と同じ漢字でお願いします。
外国人はアルファベット・カタカナどちらも可です。

性別

1: 男性

2: 女性

生年月日

診断時住所

市町村名も略さずに記入して下さい。
アパート名、部屋番号までお願いします。

腫瘍情報



側性

- 1 右側 2 左側 3 両側 7 側性なし
9 不明(原発不明、原発側不明)

以下の腫瘍のみ両側が認められています。

- (1) 卵巣腫瘍(ただし、同じ組織形態のみ)
- (2) 腎芽腫(ウィルムス腫瘍)
- (3) 網膜芽細胞腫

これら以外で左右両側に原発した腫瘍は、多重がんとして数に応じて届出してください。

腫瘍情報



原発部位

できるだけ詳細にお願いします。(右肺中葉、など)
節外リンパ節は臓器名、骨肉腫は部位名です。
病名に部位が含まれない場合にご注意下さい。
治療部位は原発部位と異なることがあります。
(転移巣を治療した場合 → 原発巣を記入する)

病理診断

分化度、細胞型(血液腫瘍)までお願いします。
病理不明の場合は、“不明”と記載して下さい。

PDF届出の場合は“新生物・腫瘍, NOS(8000)”を選択

腫瘍情報



診断施設

1 自施設診断

2 他施設診断

最初に“がん”と診断した施設についてです。

(最も確実な診断をした施設)

再発の診断をした施設ではありません。

他施設への依頼検査で診断した場合は、“1”です。

別の施設で診断 → 別の腫瘍にはなりません。

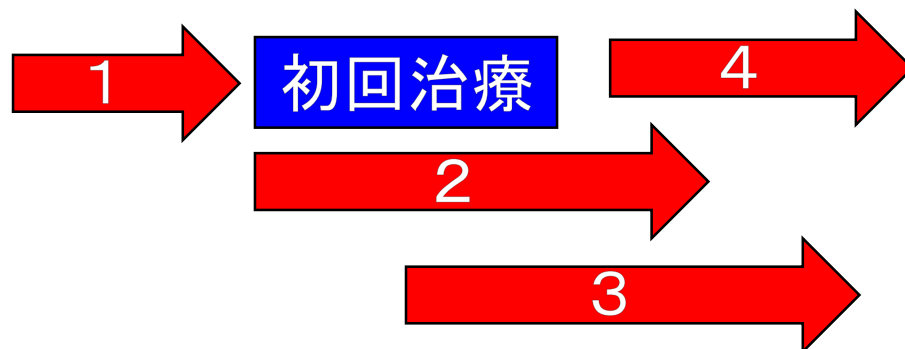
(前施設の情報がないければ、“1”でいいです。)

腫瘍情報



治療施設

- 1 自施設で初回治療なし、他施設に紹介
- 2 自施設で初回治療を開始
- 3 他施設で初回治療開始、自施設で継続
- 4 他施設で初回治療終了後、自施設に受診
- 8 その他（剖検）



腫瘍情報



診断根拠

- 1 原発巣の組織診
- 2 転移巣の組織診
- 3 細胞診
- 4 部位特異的腫瘍マーカー*
- 5 臨床検査
- 6 臨床診断
- 7 不明

医師が“がん”だと思った理由です。

内視鏡(生検なし)や画像診断は“臨床検査”です。

検査無しでの診断は“臨床診断”です。

高精度内視鏡で上皮内がんを診断した場合には細胞診ありとみなします。

部位特異的腫瘍マーカー



以下の4種類のみが部位特異的腫瘍マーカーです。

- (1) AFP → 肝細胞癌
- (2) HCG → 絨毛癌
- (3) VMA → 神経芽細胞腫
- (4) 免疫グロブリン → ワルデンストレーム
マクログロブリン血症

CEA、CYFRAなど、その他のマーカーは含まれません。

PSA、PIVKA-IIは部位特異的とは認められていません。

「CT+CEA」での診断は、「5 臨床検査」が診断根拠です。

腫瘍情報

診断日

全国がん登録は
2016年以降に診断した症例が対象です。

“診断根拠”の検査を実施した日です。

検査の結果が判明した日ではありません。

前施設で診断された症例の場合には、

”がん”として自施設に初診した日として下さい。

必ず診断日あるいは初診日を記入して下さい。

できるだけ年月までは記入をお願いします。

2015年以前に診断した症例は
青森県がん登録への届出をお願いします。
(届出項目が全国がん登録と異なります。)

腫瘍情報



発見経緯

- 1 がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例
- 3 他疾患の経過観察中の偶然発見
- 4 剖検発見 8 その他 9 不明

診断の“きっかけ”についての項目です。
検診・健診は地域や職場での検査を指します。
外来での「年1回の検査」は“他疾患の～”です。
入院時一般検査での発見は“他疾患の～”です。
第1“がん”を診断中に偶然に第2“がん”を発見
した場合は、“他疾患の～”です。

腫瘍情報



進展度・治療前

400	上皮内	410	限局
420	所属リンパ節転移	430	隣接臓器浸潤
440	遠隔転移	777	該当せず
499	不明		

白血病
多発性骨髄腫] のみ

治療前の検査で判明した“がん”の拡がりです。
CT等の画像診断を実施せず、カルテに転移などの
記載がない場合には“転移なし”の判断です。
卵巣がんのみ 腹膜播種 → 隣接臓器浸潤 です。

腫瘍情報



進展度・術後病理学的

400	上皮内	410	限局
420	所属リンパ節転移	430	隣接臓器浸潤
440	遠隔転移	660	手術無、術前治療
777	該当せず	499	不明

手術標本の結果における“がん”の拡がりです。
内視鏡治療のみでは“上皮内”又は“限局”
(リンパ節郭清がない場合、転移なしの判断です。)
卵巣がんのみ 腹膜播種 → 隣接臓器浸潤 です。

初回の治療情報



外科的治療の有無
鏡視下治療の有無
内視鏡治療の有無

- 1 自施設で施行
- 2 自施設で施行なし
- 9 施行の有無不明

体腔鏡補助下治療は“鏡視下治療”
鏡視下で途中から開胸等に移行は“外科的治療”
内視鏡後に追加で開腹切除は“外科的治療”のみ
症状の緩和を目的とする手術は含まれません。

初回の治療情報



外科的・鏡視下・内視鏡治療の範囲

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 原発巣切除 | 4 姑息的な観血的治療 |
| 6 観血的治療なし | 9 不明 |

切除の結果(遺残の有無)に関する項目です。

遺残なし → 1 治癒切除

遺残あり → 4 “姑息的な～”

転移巣の切除(原発巣の切除なし) → 4 “姑息的”

初回の治療情報



放射線療法の有無

化学療法の有無

内分泌療法の有無

その他の治療の有無

1 自施設で施行

2 自施設で施行なし

9 施行の有無不明

放射線療法は、内照射、外照射とも含みます。

分子標的薬は化学療法に含まれます。

血液腫瘍へのステロイド単剤は、“内分泌療法”

BGC膀注、ラジオ波焼灼術などは“その他の治療”

TACEは、“化学療法” + “その他の治療”

死亡情報



死亡日

自施設で死亡した場合のみ記入して下さい。
他施設に紹介した場合には空欄で結構です。
稀に、死亡診断書の死亡日と医療事務(会計)での死亡日が異なる場合があります。その場合には死亡診断書の死亡日を優先して下さい。

遡り調査



まだ届けられていない症例

診断書作成の医療機関に
診療情報の追加を要請



既に届出された
症例と照合

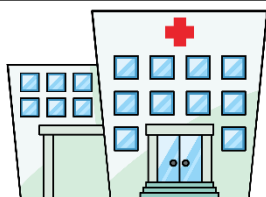
全国がん登録

③ 遡り調査

② 死亡診断書情報の
報告

死亡診断書を作成した医療機関

市町村役場



① 死亡診断書の提出



死亡診断書



よくある質問 1

病理診断名が不明の場合、どうしたらいいのか？

(生検なし、手術なし、など)

OCR用紙で届出の場合

→ 不明

PDFで届出の場合

→ 悪性腫瘍(8000/3)

よくある質問 2



自施設では**確定診断**せずに「疑い」として
他施設に紹介した症例は届出の対象か？

おそらく、
「病理診断で確定していない」の意味

「(設備等の理由で)治療できない」ので紹介した
→ 届出の対象です。

「これ以上の検査ができない」ので紹介した
→ 届出の対象ではありません。

よくある質問 3



遠隔転移（肺、肝臓、骨など）がある場合には、
原発部位と転移部位の両方を登録するのか？

がん登録は 1腫瘍（原発＋転移） → 1登録 です。

1つのがんで登録

登録（届出）内容

肺がん



原発部位：肺

脳転移



進展度：遠隔転移

骨転移

届出時の注意事項 1



届出申出書を必ず同封する。

特に、電子データ(CD)での届出時に忘れることが多いようです。

発行日付
有効期限 2017年03月05日

<<チェックが完了していません>>
右下の「確定」ボタンを押してください

全国がん登録 届出申出書

届出種別を選択してください

届出種別 届出票 CSVファイル添付

電子届出ファイルの使い方

- 届出票
 - 届出申出書に病院・届出担当者情報を入力してください
 - 届出票に情報を入力してください
※最大10件まで入力できます
 - 「確定」ボタンを押して、PDFファイルを保存してください
- CSVファイル添付
 - 届出申出書に病院・届出担当者情報を入力してください
 - CSVファイルを添付してください
 - 「確定」ボタンを押して、PDFファイルを保存してください

病院・届出担当者情報を入力してください

都道府県 病院等の名称	青森県 弘前大学医学部附属病院
病院等の所在地	
管理者氏名	
届出担当者氏名	
届出担当者電話番号	
届出担当者メールアドレス	
届出担当者FAX	
届出事件数	
添付ファイル件数	
添付ファイル内件数	
コメント	

(全半角256文字)

初期化

確定

届出時の注意事項 2



PDF届出の場合、確定ボタンを押下する。

発行日付
有効期限 2017年03月05日

<<チェックが完了していません>>
右下の「確定」ボタンを押してください

全国がん登録 届出申出書

届出種別を選択してください

届出種別 届出票 CSVファイル添付

電子届出ファイルの使い方

- 届出票
 - 届出申出書に病院・届出担当者情報を入力してください
 - 届出票に情報を入力してください
※最大10件まで入力できます
 - 「確定」ボタンを押して、PDFファイルを保存してください
- CSVファイル添付
 - 届出申出書に病院・届出担当者情報を入力してください
 - CSVファイルを添付してください
 - 「確定」ボタンを押して、PDFファイルを保存してください

病院・届出担当者情報を入力してください

都道府県	病院等の名称	青森県 弘前大学医学部附属病院
病院等の所在地		
管理者氏名		
届出担当者氏名		
届出担当者電話番号		
届出担当者メールアドレス		
届出担当者FAX		
届出案件数		
添付ファイル件数		
添付ファイル内件数		
コメント		

押下しないと、がん登録ではPDFファイルが読み込めません。

ここです！

初期化

確定

届出時の注意事項 3



PDF届出の確定ボタンが押下できない時は...

発行日付
有効期限 2017年03月05日

<<チェックが完了していません>>
右下の「確定」ボタンを押してください

全国がん登録 届出申出書

届出種別を選択してください

届出種別 届出票 CSVファイル添付

電子届出ファイルの使い方

- 届出票
 - 届出申出書に病院・届出担当者情報を入力してください
 - 届出票に情報を入力してください
※最大10件まで入力できます
 - 「確定」ボタンを押して、PDFファイルを保存してください
- CSVファイル添付
 - 届出申出書に病院・届出担当者情報を入力してください
 - CSVファイルを添付してください
 - 「確定」ボタンを押して、PDFファイルを保存してください

病院・届出担当者情報を入力してください

都道府県	病院等の名称	青森県 弘前大学医学部附属病院
病院等の所在地		
管理者氏名		
届出担当者氏名		
届出担当者電話番号		
届出担当者メールアドレス		
届出担当者FAX		
届出案件数		
添付ファイル数		
添付ファイル内件数		
コメント		

初期化

確定

- ① 日付が間違っている
(診断日が死亡日より後)
(診断日、死亡日が将来)
- ② 診断日が2015年以前
(全国がん登録対象外)

ここです！

Hos-CanR Lite の注意点

- 2016年末に更新プログラムが配布されています。
- 必ず更新してから届出データをエクスポートして下さい。
- 2015年以前の症例(=全国がん登録の対象外)もデータエクスポートできますが、全国がん登録データベースに入力できません。
- 2015年以前の症例は、青森県がん登録の届出用紙で届け出てください。



Hos-CanR Plus の注意点

- 全国がん登録に届け出るためのデータエクスポート機能がまだ搭載されていません。
- 登録した全データのエクスポートは可能ですが、全国がん登録データベースに入力できません。

Hos-CanR Plus をご利用の病院は
まだ全国がん登録の届出をしないで下さい。

- Hos-CanR Plus のシステム改修後、全国がん登録用エクスポート機能が追加されてからの届出をお願いします。

ご清聴いただきまして、
ありがとうございました。

